

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月18日

計画の名称	喜多方市宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	喜多方市													
計画の目標	本計画は、行政区域面積が約554.63平方キロメートルある喜多方市において、大地震時に災害の発生の恐れが大きい大規模盛土造成地の変動・被災状況を把握するため、国土交通省「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン」を基本に、喜多方市内における大規模盛土造成地の調査を実施するものであり、大規模盛土造成地の位置等の公表により、住民の宅地災害に対する関心を高め、早期の変状把握、早期対応等による被害の防止・軽減につなげることを目的とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3	A	3	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R2末
1	第二次スクリーニング計画を作成し、公表することで住民の関心を高めるとともに、優先度評価等を行うことで早期対応等により被害の防止が可能となる。 対象地について、webページや広報誌により住民の周知度を100%にする。	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	×	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	喜多方市	直接	喜多方市	-	-	大規模盛土造成地変動予 測調査	造成年代調査等基礎資料整理 ・現地踏査・優先度評価	喜多方市	■					3	-	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

喜多方市建設部都市整備課において事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和3年3月

公表の方法

喜多方市ホームページ掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

大規模盛土造成地変動予測調査結果（第一次スクリーニング）により抽出された大規模盛土造成地に対し、優先度評価手法の検討、基礎資料の整理、現地踏査及び大規模造成地カルテを作成し、その結果を報告書にまとめることが出来た。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

本事業の成果をもとに、年1回の現地踏査を行い経過観察し、大規模地震における盛土造成地の滑動崩落等の宅地被害を防ぐための事前対策を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	